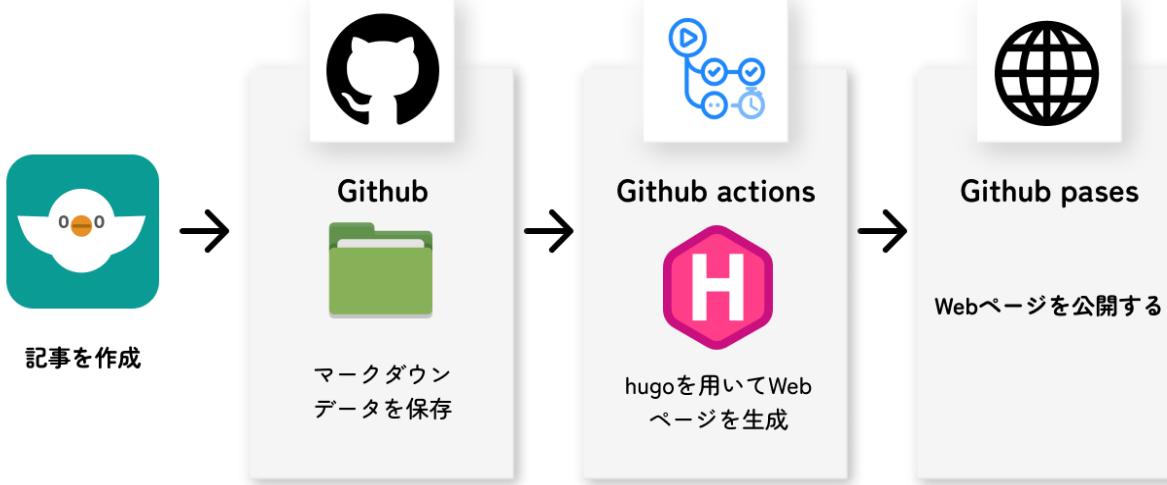


# esaをCMSにして GithubActionsと hugoを用いて自動で ホームページを 更新する方法の考案



writer: はるちろ

# 目次

第 1 章	初めに	2
第 2 章	実際の動作しているサイト	3
第 3 章	用語まとめ	4
3.1	esa	4
3.2	hugo	5
3.3	github Actions	6
3.4	github pages	6
3.5	CMS	7
第 4 章	これは chapter	8
4.1	これは section	8

# 1

## 初めに

さて、みなさん。Web サイトは作られていますか？Web サイトを作る時にそのまま HTML を触って Github などで管理をしてもいいのですが、やはり Github を使ったことない人にとっては Web サイトの更新だけでかなり大変な作業になってしまいます。

そこで、今サークルの情報共有で用いている esa を用いて Web サイトを更新したら簡単に、誰でも更新できるのではないかと考え、実装してみることにしました。そこまで難しくないので、ぜひ参考にしてみてください。

# 2

実際の動作しているサイト

<https://github.com/SystemEngineeringTeam/BlogSiteMarkDown>

<https://esa.harutiro.net/>

# 3

## 用語まとめ

### 3.1 esa

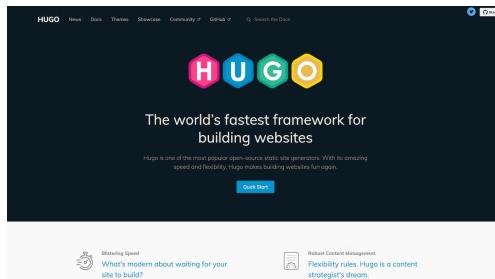


▲ 図 3.1 esa のホームページの写真

## esa とは

esa とは、2014 年に設立された合同会社 esa の「情報共有ツール」です。esa は「不完全でも早い段階でチームに共有し、更新を重ねることでより良い情報に育つ」という発想のもと生まれました。そのため「Share（公開）」「Develop（更新して情報を育てる）」「Organize（育った情報を整理）」の 3 つの流れで設計されています。現在は 3,000 社を超える企業に導入されており、主に情報の蓄積や WIP 機能（書いている途中でも共有する機能）を用いて、業務の効率化を実現している企業が多いです。引用：  
<https://www.stock-app.info/media/?p=37138>

## 3.2 hugo



▲ 図 3.2 hugo のホームページの写真

## hugo とは

Hugo は Go 言語で実装された「Web サイト構築フレームワーク」で、最初の公開は 2013 年という比較的新しいツールだ。コンテンツ管理システムではなく「Web サイト構築フレームワーク」と名乗っているとおり、コンテンツの管理ではなく、Web サイトで使われる HTML ファイルや RSS ファイルなどの生成に特化した機能を備えている。引用:<https://knowledge.sakura.ad.jp/22908/?gclid=CjwKCAiAnZCdBhBmEiwA8nDQxVEZ6cnM00uXYewDZvSncfx3Ug12KaMjpzeWWLYtFNrCMnvrCSQKTBoCISBwE>

## 3.3 github Actions



▲ 図 3.3 GitHubActions のホームページの写真

### github pages とは

GitHub Actions で、ソフトウェア開発ワークフローをリポジトリの中で自動化し、カスタマイズし、実行しましょう。CI/CD を含む好きなジョブを実行してくれるアクションを、見つけたり、作成したり、共有したり、完全にカスタマイズされたワークフロー内でアクションを組み合わせたりできます。引用：<https://docs.github.com/ja/actions>

## 3.4 github pages

### hugo とは

GitHub Pages は、GitHub のリポジトリから HTML、CSS、および JavaScript ファイルを直接取得し、任意でビルドプロセスを通じてファイルを実行し、ウェブサイトを公開できる静的なサイトホスティングサービスです。引用：<https://docs.github.com/ja/pages/getting-started-with-github-pages/about-github-pages>

## 3.5 CMS

### hugo とは

「CMS」とは、「Contents Management System：コンテンツ・マネジメント・システム」の略で、簡単にいうと Web サイトのコンテンツを構成するテキストや画像、デザイン・レイアウト情報（テンプレート）などを一元的に保存・管理するシステムのことです。引用：[https://www.hitachi-solutions.co.jp/digitalmarketing/sp/column/cms\\_v0101/](https://www.hitachi-solutions.co.jp/digitalmarketing/sp/column/cms_v0101/)

# 4

これは chapter

## 4.1 これは section

我輩は猫である<sup>\*1</sup>。

どこで生れたかとんと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰惡な種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕えて煮て食うという話である。

```
1 /* ここにはソースコードを書く */
2 #include<stdio.h>
3
4 int main(void)
5 {
6     printf("Hello, World!\n");
7     return 0;
8 }
9 /* breakable を付けるとこんな感じで改行にも対応できる */
```

---

<sup>\*1</sup> こんな感じで脚注を書く

```
## ここにはコマンドを書く  
$ echo "Hello, World!"
```

図表はキャプションを付けたときに、先頭に「▲」や「▼」を付けるようにした。

▼ 表 4.1 表のサンプル

日本	hoge	fuga	piyo
アメリカ	foo	bar	baz



▲ 図 4.1 画像のサンプル

これはコラム

コラムも随時挟めるようにした。

tcolorbox は title を指定するといい感じにタイトル付きの枠で囲ってくれる。